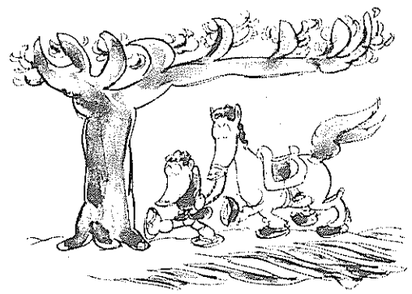
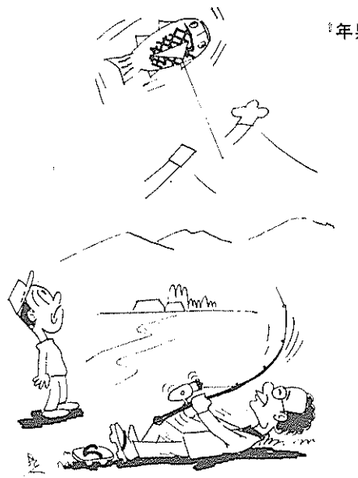
新春マンガ大会



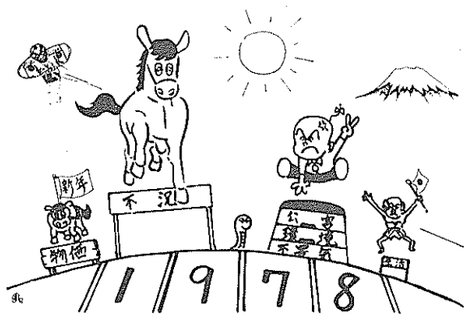
『年男』三輪　崇（里改田）

『円高問題』川添　俊明（岡豊町常通寺島）

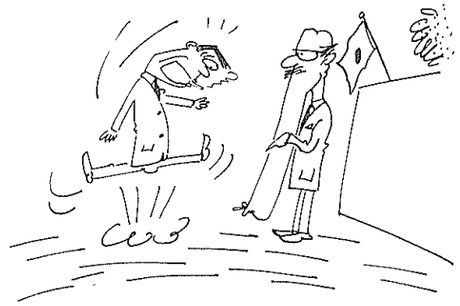
【円高問題】



『だいごみ』葛目　義人（岡豊町笠の川）



『跳躍』岡上　正義（片山）



『オイ、火を貸してくれ』古谷　栄幸（植田）

南国俳壇

たまさかの外出小春をたのみとし
落慶や紅葉明りの鐘楼堂
張り替えし障子にひびき鳴の声
蓑虫や木も十年は一と昔
草じらみ猟犬はいまだ猟しらず
綿厚く被て廃鉱の綿虫よ
ピーマン半値空が青い
歯科院を出れば四方初しぐれ
絮すすき羽ばたきに似て禁猟区

鈴江　妃世（柿の実会）
大谷　みえ（〃）
山本　幸（〃）
三宮たか志（灯俳句会）
溝渕由紀男（〃）
中村　祭生（〃）
岡崎　美枝（忍冬句会）
永田ますき（〃）
高村三喜子（〃）

南国歌壇

散るまでの瞬時を黄金の驕りとし
公孫樹は立てり初冬の空に
西野田　吉川定子

野辺ゆきてぬすびとはぎのつきし
服　ひとつひとつを孫と抜きいる
西島　岡林きよ

久々に師走の街に気になりし
男の子初着ゆっくりえらびし
立田　北村幸江

忍従の日々ながからむ昼夜帯と
名づけし母の帯が重たし
立田　島田美津子

たちこめる朝の気つきて上りたる
みやしろすがしけふもぬかづく
大埔　中田憲秀

広報に歌のぞまれて歌を書き
わが逆修の愚かさ残す
浜改田　清水愛川

物部郷の由来

もとの物部川は、現在の位置から、西の方数百㍍の所を流れており、川の名前を鏡川とよんでいたという。それは片地の夢野の川岸に鏡岩があって、この川の名が生れたという。

下流の左岸一帯を物部郷といった。それは物部氏またはその部民が奈良時代にこの地に移住してきたためであるという。物部氏は上岡山（神丘山）に祠堂をたてて、祖神である天忍穂別の神を祀り次第に繁昌したものと思われる。

荒物部川の川口に、二つの大きな岩があり、川の流れをふさいで、氾濫の原因となって住民は困りはてていた。ところがある日突然大きな赤鬼があらわれ、二つ岩をそれぞれ大縄でしばりあげ、オオクで荷ないあげた。物すごい地ひびきとともに、二つの岩は宙にういた。赤鬼は、一段と顔を赤くし満身の力をしぼって、一足一足と力強く歩きだした。川の流れを、東に渡ろうとして、中流にさしかかった時オオクが折れてしまったからたまらない。そのため二つの岩は、川をはさんで東西に分れ、どっかと腰をすえたのである。このときの東の山を上岡山、西の山を久枝山とよぶようになったという。

久枝山は大平洋戦争のとき飛行場をつくるため取り除かれた。

物部川は現在は、ダムが出来堤防が完備したので水の被害は殆んどなくなったが、水害になやまされた藩政時代の昔、亜生の奥久保に一軒の素封家があり、宝を招くという金の招き猫の置物があったが、この水害で家と共に流されてしまった。

数年の後、川口の大改修が行われ、付近の農民が賦役にかり出された。その中に島内某という真面目な働き者があって、毎日一番に出、一日として休むことなく働き続けた。数ヶ月の作業の結果出来上った。完成の日みなの帰ったあと、この男が最後の鍬を入れると、カタンと手ごたえがしてピカリと光るものが現れた。「こりゃ金の猫ちゃ。きっと神さまが、恵んでくれたにちがいない。宝にしよう。」

頬ずりしながら帰ると、早速神前にお供えした。

それから島内家には、運が巡ってきて、数年後には、たちまち付近一番の大金満家になったという。

普因が善果をもたらしたものだ、とほめたたえたという。

親子クイズ ⑯

お年玉クイズ特集

ご家庭で話し合って答えてください。答えは今月号の広報に出ています。

■**もんだい**・後免野田小学校の校舎増築工事がこのほど完成。○月○○日落成式を行った。

■**しめきり**・一月二十一日㈭

■**おくり先**・〒783　南国市大埔　南国市役所内広報委員会親子クイズ係。

■答えのハガキには必ず**お歳、職業**を書いてください。

■**しょうひん**・特賞（千円）三人　残念賞（記念品）十人

第七十五回正解者発表

■**こたえ**・㈱㈱でした。

■**特賞**・千円＝三人

中沢久美さん（前浜）
中西健賀くん（笠ノ川）
別役知映さん（久礼田）

■**残念賞**・記念品＝十人

吉川啓子（久礼田）野中理香子（久礼田）三浦瑛子（大埔）竹内正昭（中島）岩原三輪（白木谷）竹村好子（久礼田）村上静（小蓮）竹崎三洲（久礼田）島崎美子（稲生）溝渕寿美子（篠原）